

あかふじ

ニュース

第 11 号

発行 平成27年3月
山梨県消防防災航空隊



《山梨県ホームページ》
<http://www.pref.yamanashi.jp>

《やまなし防災ポータル》
<http://bosai.pref.yamanashi.jp>

山梨県消防防災航空隊
〒400-0108 山梨県甲斐市宇津谷 445-1
TEL 0551-20-3601
FAX 0551-20-3603
E-mail bousai-kokuu@pref.yamanashi.lg.jp

- ・平成26年度緊急運航実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・山梨県災害対策本部航空調整班設置・・・・・・・・・・・・2
- ・群馬県桐生市林野火災広域航空消防応援出場報告・・・・3
- ・長野県北部地震に伴う緊急消防援助隊出場報告・・・・4～5
- ・埼玉県防災航空隊合同訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・6
- ・山梨県警察本部航空隊合同訓練・・・・・・・・・・・・・・7
- ・長野県消防防災航空隊連携訓練・・・・・・・・・・・・・・8
- ・雪山登山訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
- ・平成26年度航空隊業務経験者研修会・・・・・・・・・・・・10
- ・その他の合同訓練実施内容・・・・・・・・・・・・・・11～17
- ・派遣終了隊員紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

平成26年度緊急運航実績報告

区分	件数 人員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	合計	
		救助	救助件数	3	8	5	10	2	16	8	8	5	6
	救助人員	6	7	7	7	1	19	9	7	6	2	71	
救急	救急件数	3	5	5	6	3	15	7	7	4	1	(56)	
	搬送人員	3	5	5	6	2	15	8	7	4	1	56	
火災	災害件数	5	1									(6)	
	飛行回数	9	1									10	
災害応 急対策	災害件数												
	救助人員												
相互応援・広域航空消防応援・緊急消防援助隊	救助	救助件数		1		2		2				(5)	
		救助人員		2		3		2					7
	救急	救急件数		1		2		2					(5)
		搬送人員		1		2		2					5
	火災	災害件数	2										(2)
		飛行回数	10										10
	その他	災害件数								2			(2)
		救助人員											
		件数合計	13	16	10	20	5	35	15	17	9	7	(147)
		緊急運航及び相互応援・広域航空応援(応援)・緊急消防援助隊の合計件数											147件

今年度の緊急運航は1月5日現在で147件

今年度の災害件数は上記表のとおり147件ありました。

この内、救助活動件数は県内外合わせて76件あり、県内活動が71件、相互応援協定による他県応援が5件となり、救急患者搬送人員については、救助活動に伴う搬送人員及び救急活動の搬送人員と合わせて61名となりました。

件数合計のうち、県内では救助活動が48%を占め、救急活動は38%、火災防御活動は4%、また県外への応援活動は10%となりました。また群馬県桐生市で発生した大規模林野火災に2件、長野県北部を震源とする地震に対し緊急消防援助隊として応援出場しました。

山梨県災害対策本部に「航空調整班」新設

山梨県内で大規模災害が発生し、県内外関係機関の多数のヘリコプター又は固定翼機（以下「ヘリコプター等」という。）が災害対策活動に従事する必要がある場合にヘリコプター等の効率的な運用調整及び安全運航の確保を図るため災害対策本部の構成班に「航空調整班」を新設しました。

平成27年2月17日に当航空隊事務所において本年度2回目の「山梨県航空運航業務連絡調整会議」を開催しました。

この会議は平成25年6月19日に第1回目を開催し今回で4回目となり、山梨県内のヘリコプター等を保有する機関で構成し、運航業務等の課題について協議・調整を行い連携強化を図るため立ち上げました。

今回「航空調整班」の新設に伴い会議名を「山梨県ヘリコプター等航空運用調整会議」と改め、平時の所掌事項の他に大規模災害時等における所掌事項を加え、災害対策本部設置の際は、この会議の参画機関で「航空調整班」の運営と航空調整を行うこととし、さらに「山梨県ヘリコプター等航空調整班活動マニュアル」の制定により、ソフト、ハードの両面で強化を図りました。

本年1月15日に豪雪を想定した総合図上訓練を山梨県防災新館災害対策本部室において実施し、初めて航空調整班として災害対策本部内に入り訓練を実施しました。



班長会議



本部員会議

群馬県桐生市 林野火災

平成26年4月15日23時ごろ群馬県桐生市菱町、黒川ダム付近の山林で大規模な林野火災が発生し、当航空隊は大規模特殊災害時等における広域航空消防応援の要請を受け、4月16日・17日と2日間に渡り消火活動を行いました。当隊の他、埼玉県防災航空隊・新潟県消防防災航空隊・茨城県防災航空隊・福島県消防防災航空隊・栃木県消防防災航空隊及び自衛隊が空中より消火活動を行い、約400ヘクタールを焼損し鎮火しました。

『あかふじ』活動詳細

4月16日

散水回数 41回

散水量 29,520㍓

飛行時間 5時間47分

4月17日

散水回数 46回

散水量 33,120㍓

飛行時間 9時間02分

合計

散水回数 87回

散水量 62,640㍓

飛行時間 14時間49分



上空から確認した被害状況



群馬ヘリポート



給水ポイントとなった渡良瀬川



ヘリベースの様様

長野県神城断層地震

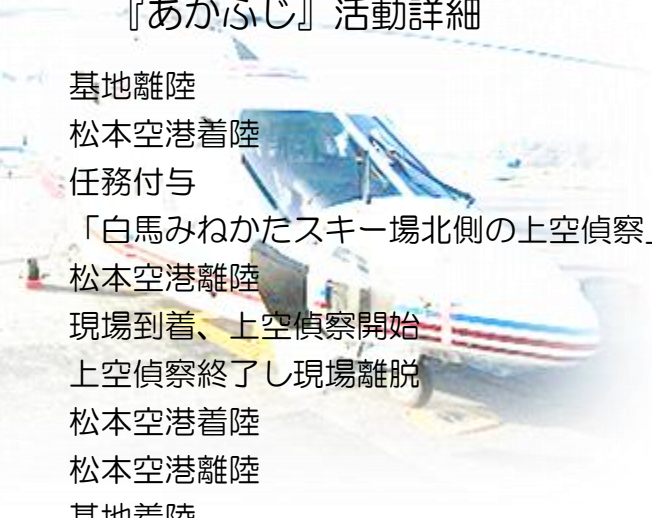
緊急消防援助隊応援出場

平成26年11月22日22時08分頃、長野県北部、北安曇郡白馬村を震源とするマグニチュード6.7の地震が発生。長野県は呼称を「長野県神城断層地震」とし、長野市、小谷村、小川村で最大震度6弱を観測しました。

これに伴い、当航空隊は「緊急消防援助隊」の出動要請を受け、11月23日、6時49分松本空港に到着し、災害状況の把握を行いました。その後、白馬村内の被害状況を調査、確認を実施しました。

この地震により派遣された航空部隊は、当航空隊の他、東京消防庁航空隊、埼玉県防災航空隊、群馬県消防防災航空隊、新潟県消防防災航空隊の合計5隊が出場しました。

『あかふじ』活動詳細



6:28	基地離陸
6:49	松本空港着陸
7:45	任務付与 「白馬みねかたスキー場北側の上空偵察」
8:48	松本空港離陸
9:02	現場到着、上空偵察開始
9:23	上空偵察終了し現場離脱
9:39	松本空港着陸
12:25	松本空港離陸
12:46	基地着陸



上空からの松本空港



ヘリベースの様様

上空から撮影した白馬村の様子



上空から確認した被害状況



埼玉県防災航空隊合同訓練

平成26年12月18日埼玉県防災航空隊基地及び秩父防災基地等において「相互応援協定」に基づく出場を想定し、進出経路の確認、また相互の救助技術等を披露することにより、更なる連携強化を目的として訓練を行いました。

訓練内容

埼玉県内における局所災害を想定し、訓練内容を一部明かさないうセミブラインド型の連携訓練を両県の機体2機を運用し実施した。



埼玉県防災航空隊基地における活動指示



両県航空隊員が協力し、救助を実施



参加隊員で記念撮影

～合同訓練に参加した隊員の感想～

埼玉県防災航空隊とは毎年訓練を実施しているが、今回のような2機が上空を旋回して、両県の隊員が地上に降下し、共に地上で活動を実施するという訓練は初めての試みであり、相互の連携を深める大変良い訓練となりました。

今後も、このような訓練を継続的に実施し技術向上ができればと思います。

山梨県警察本部航空隊合同訓練

平成26年12月22日山梨県警察本部航空隊基地において、県内における大規模災害等の発生に備え、山梨県警察本部航空隊と合同訓練を実施しました。

両隊の円滑な連携活動を確立し、相互の機体特性の把握、救助技術交流及び協力体制の充実を図ることができました。



『あかふじによる訓練風景』



『はやてによる訓練風景』



『参加航空隊員全員で記念撮影』

～合同訓練を実施して～

山梨県警察本部航空隊との合同訓練は今後も定期的実施し、機動力のあるヘリコプターの特性を最大限に生かしていきたいと思えます。

また、大規模災害等が発生した場合には、連絡体制を密にとり災害に対応していきたいと思えます。

長野県消防防災航空隊連携訓練

平成27年2月20日「あかふじ」連休中における豪雪災害発生を想定し、「消防防災ヘリコプターの運航不能期間等における相互応援協定」に基づき、受援対応訓練をセミブラインド型で実施しました。

長野県消防防災航空隊に応援要請を行い、山梨県消防防災航空隊基地において受援体制等の検証。清哲訓練場において当航空隊員の投入及び両県航空隊員にて地上活動を実施し、実戦的な訓練を通して長野県消防防災航空隊との更なる連携強化を図ることができました。



航空隊基地において活動指示



両県航空隊員が長野県消防防災航空隊「アルプス」に搭乗し現場へ



両県航空隊員が地上に降下後、関係者に状況聴取



地上にて要救助者のトリアージ



要救助者のピックアップ

雪山登山訓練



《雪山登山訓練を実施した隊員の感想》

雪山登山訓練を実施したことで、アイゼン装着時の歩行方法や注意点、ピッケルの使用方法等を再確認することができました。

また、現場活動時に活かせる有意義な訓練となりました。

今後も継続的に実施し、緊急運航時に安全な活動ができるよう取り組んでいきたいと思っております。

平成27年2月23日、24日に北杜市須玉町にある瑞牆山において雪山登山訓練を実施しました。

降雪地帯での救助活動は、積雪による特殊な環境下での活動となるため、雪山の寒さ、風の強さを肌で感じ、雪の感触や装備の重さ確かめることが大切です。

今回の訓練では基本的な歩行技術等を身に付け、より安全な航空活動を行うことを念頭に実施しました。



平成26年度 航空隊業務経験者研修会

平成27年3月2日当航空隊において、航空隊業務経験者研修会を開催しました。研修会には、各消防本部から22名の航空隊業務経験者が出席し、「山梨県緊急消防援助隊航空部隊受援計画」に基づき、山梨県が災害受援県となった際の航空隊業務経験者の航空隊への支援活動について研修会を行いました。



研修会内容

【ヘリベース及びフォワードベース等における航空部隊の運用及び支援に係る活動】

- ヘリコプター誘導要領（改正点について）
- フォワードベース等における航空機燃料の仮貯蔵・仮取扱いについて

【実績・報告等】

- 平成26年度運航実績
- 平成25年度中に発生した他県航空隊救助活動中の事故について
- 平成25年度豪雪災害活動報告

～研修会を終えて～

この度、航空隊業務経験者研修会を開催したところですが、参加していただいた各消防本部の皆様におかれましては大変ありがとうございました。今後も日々航空隊業務を行う中で、航空隊業務経験者における効率の良い支援活動等を検討し、研修会を通じて皆様に伝達・提案をさせて頂きたいと考えておりますので、今後ともより一層のご支援ご協力をお願い致します。

合同訓練実施内容

• 都留市市制60周年 防災フェスティバル機体展示 (平成26年4月29日：都留市)

都留市市制60周年防災フェスティバルの一環として、都留市楽山球場で機体展示を実施しました。親子連れ等たくさんの見学者が集まり、機体を見学していました。



• 埼玉県防災航空隊視察研修 (平成26年6月3日：当航空隊基地)

相互応援協定を締結している埼玉県防災航空隊が来隊しました。相互の事例検討や、格納庫において駐機訓練の展示、各種資機材の確認を行いました。また、意見交換も行い交流を深めることが出来ました。



• 山梨県水防訓練 (平成26年5月18日：上野原市)

桂川右岸河川敷で増水により要救助者が中州に取り残された想定 of 訓練に参加しました。

当日は多くの訓練参加者等が見守るなか、関係機関と連携し充実した訓練となりました。



• 消防学校初任科教育実習 (平成26年7月25日：韮崎滑空場)

県消防学校の初任科学生を対象に、午前には消防学校において講義、午後は韮崎滑空場で機体を使用した実機訓練を行いました。また、当航空隊に来隊し、資機材展示等を実施しました。



・都留市消防本部合同訓練

(平成26年8月2日：楽山球場)

林野火災発生時、連携強化を図ることを目的に訓練を行いました。

ポンプ給水による訓練を実施し、相互の協力体制を強化することができました。



・東山梨消防本部合同訓練

(平成26年8月22日・27日：

笛吹川フルーツ公園)

山岳地での救急、救助事故を想定して、消防隊と航空隊との一体的な活動による各種連携訓練を実施し、安全確実な協力体制の確立と効率的な連携活動の向上を図ることを目的に訓練を行いました。



・峡南消防本部特別救助隊 水難救助合同訓練

(平成26年8月22日：富士川河川敷)

相互の連携を図り、水難事故に対する活動を円滑に行うことを目的に合同訓練を実施しました。河川という特殊な状況下で、流されている要救助者の救出及び中州からの救助を行い、連携強化を図ることができました。



・甲府市総合防災訓練

(平成26年8月31日：大國小学校)

東海地震の発生や風水害などの災害に備え訓練を行いました。

あかふじは、メイン会場付近の上空偵察を実施しました。



・富士吉田市防災訓練

(平成26年8月31日：富士吉田市)

地域防災組織を中心に、住民と市及び関係機関の連携強化を目的に行われました。富士吉田市内を上空偵察し、災害状況を消防本部に無線交信しました。

・忍野村防災訓練

(平成26年8月31日：忍野村)

東海地震の発生を想定し、物資輸送訓練、偵察訓練、救急搬送訓練を実施し、関係機関と連携しスムーズな活動を行うことができました。



・山梨県立中央病院合同訓練

(平成26年9月3日・4日・8日：
清哲訓練場)

県内で発生する災害に対して迅速な対応を図るため、医師及び看護師があかふじに搭乗し、相互の連携活動を確立することを目的に合同訓練を実施しました。



・東山梨消防本部塩山消防署 及び山梨県立中央病院医師 派遣用自動車合同訓練

(平成26年9月25日：塩山中学校)

消防本部及び山梨県立中央病院と連携を図るとともに、訓練を通して中学生に陸と空の「命のリレー」を肌で感じてもらいました。



・都留市消防本部道志出張所 合同訓練

(平成26年10月26日：道志村林間広場)

山林の割合が村の90パーセントを占める道志村の山林原野の火災予防と、被害軽減及び相互の連携を図ることを目的に合同訓練を実施しました。消防団からのポンプ給水を受け山林への散水を実施しました。



• 峡南地区大規模災害時医療救護訓練

(平成26年10月27日：
富士川増穂地区河川防災ステーション)

大規模災害に備え、各関係機関が発災直後の医療救護に関する各自の役割と行動等の実務を確認するとともに、意識の向上を図ることを目的に実施しました。あかふじは3名を救出し、救急隊への引き渡しを行い、各関係機関と緊密な連携体制の構築を図ることができました。



• 山梨県地震防災訓練

(平成26年11月2日：大月市)

災害対策基本法、山梨県地域防災計画に基づき、防災関係機関と地域住民が相互に連携して、各種防災訓練を一部セミプラインド化し、実践的な訓練を実施しました。

航空隊においては埼玉県防災航空隊及び群馬県防災航空隊も飛来し、物資輸送訓練、救急搬送訓練、孤立者救出訓練を実施しました。



• 富士五湖支部秋季総合防災訓練

(平成26年11月3日：
県立富士北麓駐車場P1)

消防団による総合訓練を実施し、強固な消防精神の涵養と消防団の団結を図り、地域住民の防火防災に対する意識の高揚を図ることを目的に訓練を行いました。給散水訓練では消防団からのポンプ給水を受け一体的な連携が図られたところです。



• 峡南消防本部北部消防署合同訓練

(平成26年11月10日：
富士川増穂地区防災ステーション)

秋の火災予防運動の一環として、各関係機関が実践的な訓練を通し、実災害時に迅速かつ安全な活動が行える知識・技術を身に付けることを目的に訓練を行いました。航空隊は3名を救出し、救急隊への引き渡し訓練を実施し、連携強化を図ることができました。



・中央市秋季火災予防訓練

(平成26年11月10日：
山梨大学医学部付属病院)

全国火災予防運動の一環として、火災が発生しやすい時期を迎えるにあたり、多数の学生が出入りする施設における防火安全対策の徹底を図るとともに、関係機関相互の協力体制強化を図りました。



・県民の日記念行事

(平成26年11月15日・16日：
小瀬スポーツ公園補助競技場)

県民の日記念行事の一環として、毎年恒例の機体展示などを小瀬スポーツ公園補助競技場において実施しました。

今年も親子連れなど大勢の見学者が集まり訓練や機体を見学していました。



・甲府地区消防本部高度救助隊 合同訓練

(平成26年10月23日・24日
平成26年11月19日・20日：
航空隊格納庫・敷島総合公園)

実機による隊員投入訓練を実施する前の駐機訓練を格納庫で実施しました。

基本搭乗要領、降機要領や同時降下による隊員投入要領を訓練した後、敷島総合公園において実機を使用した合同訓練を行いました。



• 横浜市消防航空隊進出訓練

(平成26年11月28日：
横浜ヘリポート)

大規模災害発生時における広域航空消防応援を想定し、飛行経路確認及び近隣の医療機関等のヘリポートの上空偵察を行い、応援時に安全かつ迅速な任務遂行することを目的に実施しました。



• 大月市消防本部合同訓練

(平成26年11月30日：
大月陸上競技場)

林野火災の早期鎮圧、被害軽減を目的に訓練を行いました。消防本部及び消防団が参加し連携体制を構築することが出来ました。



• 南アルプス市消防本部合同訓練

(平成26年11月13日・14日
平成26年12月8日・9日：
航空隊格納庫・遊湯ふれあい公園)

実機による隊員投入訓練を実施する前の駐機訓練を航空隊格納庫において、基本搭乗要領、降機要領や同時降下による隊員投入訓練を実施しました。

実機訓練では消防本部及び航空隊との円滑な連携により、迅速確実な訓練を行うことができました。



• 栃木県消防防災航空隊視察研修

(平成26年12月9日：当航空隊基地)

緊急消防援助隊迅速出動となっている山梨県への飛行ルート及びヘリベースの確認のため来隊されました。



・総務省中央合同庁舎2号館 ヘリポート離着陸訓練

(平成26年12月10日：
総務省消防庁ヘリポート)

東京都において大規模地震が発生した場合、当航空隊は緊急消防援助隊航空部隊の情報収集航空部隊として迅速出動となっています。また首都直下地震が発生した場合の情報収集活動や救助・救急活動を実施しなければならないことから、東京都への進出及び総務省ヘリポート離着陸訓練を実施し、安全かつ迅速に任務を遂行することを目的に訓練を行いました。



・中央市消防団及び山梨県消防防 災航空隊連携訓練

(平成26年12月13日：
中央市農村公園)

林野火災等が発生した場合に消防隊が消防団及び航空隊と連携し迅速に災害対応することを目的に訓練を行いました。各関係機関と緊密な連携体制の構築を図ることができました。



派遣終了隊員紹介

副隊長 向山克也
(東山梨消防本部)

救助活動	95件
救急活動	4件
火災防御	20件
災害応急	1件
緊急消防援助隊	2件

出勤合計	122件
救助人員	92名

隊員 氏原忠彦
(峡北消防本部)

救助活動	88件
救急活動	5件
火災防御	22件
災害応急	1件
緊急消防援助隊	2件

出勤合計	118件
救助人員	78名

隊員 齋藤幸司
(峡南消防本部)

救助活動	97件
救急活動	1件
火災防御	19件
災害応急	0件
緊急消防援助隊	2件

出勤合計	119件
救助人員	96名



平成27年3月31日付で任期満了に伴い派遣元消防本部に帰任いたします。
各消防本部ならびに各関係機関の皆様には3年間大変お世話になりました。今後はそれぞれの消防本部で地上隊ならびに支援航空隊員として航空隊のサポートを行いたいと思います。ありがとうございました。

副隊長 向山 克也

隊員 氏原 忠彦

隊員 齋藤 幸司

